

関東地方流域治水連絡会議（第4回）

議事概要

日 時：令和5年3月23日（木）10：00～11：30

場 所：さいたま新都心合同庁舎2号館 16階 関東地方整備局会議室（WEB併用）

参加者：別紙出席者名簿参照

1. 開会 挨拶

2. 議事

- ① 各関係支分部局の取組に関する情報提供について
- ② 意見交換

議事概要：

- ① 各関係支分部局の取組について（資料1～6）

各関係支分部局より取組の紹介を行った。

整備局河川部	流域治水プロジェクトの更新について、流域治水協議会の取組について、流域治水推進室の設置について、流域治水関係ガイドラインの公表について、多段階の浸水想定・水害リスクマップの公表について、令和5年度水管理・国土保全局関係予算概要について、河川整備基本方針の変更について（資料1-1～1-7）
整備局建政部	SNSを活用した流域治水の情報発信について、都市計画と立地適正化計画の関係について、令和5年度都市局関係予算概要について（資料1-8）
関東農政局	農地・農業用水利施設を活用した流域治水の取組について（資料2）
関東森林管理局	森林整備と治山事業の紹介、流域治水に関連する取組について（資料3）
東京管区气象台	令和5年度気象庁関係予算決定概要について（資料4）
関東地方環境事務所	Eco-DRR普及に関する取り組みについて（資料5）
水資源機構	ダム管理等（洪水調節の状況）の概要について（資料6）

3. 意見交換

- ② 各関係支分部局の取組について

・資料1-1の流域治水相談窓口について、田んぼダムや砂防、治山、環境保全や水循環等様々なものが流域治水に関連づけられており、国土交通省は流域治水の旗振り役として取り組んできていることから、関係者からの多岐にわたる問い合わせにも対応が必要。回答を行

うにあたり、他省庁の所管する部分もあることから、円滑に対応できるよう、本連絡会議関係を通じて照会・調整をさせていただきたい。問い合わせフォームを設置することも考えており、年度明けに再度調整させていただきたい。

また、広報活動や勉強会等の支分部局間で連携できることがあれば引き続きご協力いただきたい。(地整河川部)

・田んぼダムの取組はかなり増えてきている。地権者、耕作者のメリットとしては柵(資料2 2ページ)を設置したことで維持管理面では楽になったという声を聞いたことがある。田んぼダムを実施した耕作者にとって、具体的にどのようなメリットを見出せているのか、または検討の余地はあるのかご教示いただきたい。(地整河川部)

→田んぼダムは、農家個人の土地に水を貯めることになるので農家によく理解頂くことが重要だと認識している。今年度、関東管内6箇所において、田んぼダムの説明会を実施している。鬼怒川・小貝川の勉強会でも説明しているが、メリットとしては、田んぼを含む地先において内水氾濫の軽減に効果があると認識している。引き続き、浸水後に排水を行うポンプ運転の軽減(電気代等)に繋がるか、今後検証したいと考えている。

田んぼダム整備による浸水軽減効果は、「田んぼダムの手引き」(概要版 P11、P12)にもあるように、地区の田んぼダム有無のシミュレーションで、1/50の頻度の降雨で生じていた浸水時に、耕作者が使用する農道等の浸水が減ることに繋がり、地図に浸水実績をマークし田んぼダム整備による浸水解消を示したうえで説明をしている。

地権者が田んぼダムを実施しても地域住民に理解してもらえない。新潟県見附市では市の施策で耕作者に対し委託料として500円と感謝のお礼文を贈るなどの対応をしており、耕作者の取組が地域の浸水被害軽減に役立っていることを認知してもらうことが重要と考えている。

また、学校教育(小学校など)で取組を紹介している事例もある。(農政局)

→田んぼダムの恩恵を受けているのは都市だと認識している。都市の住民にも認知してもらうために都市部局も動いていかなければいけないと感じた。(地整建政部)

・田んぼダムの落水柵の材料費は。(地整建政部)

→小山市思川西部地区では、柵1個あたり19,000円程度。多面的機能交付金だけで購入している。(農政局)

→耕作者には維持管理費として、500円/年交付しているのか。(地整建政部)

→維持管理費も多面的機能交付金で対応している。(農政局)

4. その他連絡事項

5. 閉会 挨拶

関東地方流域治水連絡会議(第4回) 出席者一覧

別紙

令和5年3月23日(木) 10:00~11:30

さいたま新都心合同庁舎2号館 16階 関東地方整備局会議室(WEB併用)

出席者一覧

機関	役職	氏名	出席方法
財務省 関東財務局	管財第1部 部管財統括第3課 国有財産総括専門官	小林 毅	WEB
農林水産省 関東農政局	農村振興部 洪水調節機能強化対策官	大黒 理	対面 (代理出席)
林野庁 関東森林管理局	計画保全部 治山課長	野澤 智明	WEB
経済産業省 関東経済産業局	総務企画部 総務課 危機管理・災害対策室 室長	萩野 稔	WEB
国土交通省			
関東地方整備局	建政部 都市整備課長	今 佐和子	対面
	河川部 河川計画課長	後藤 祐也	対面
関東運輸局	鉄道部 技術・防災第一課長	水野 寿洋	WEB
気象庁 東京管区气象台	総務部業務課 防災調整官	加茂 直幸	WEB
環境省 関東地方環境事務所	環境対策課 地域適応推進専門官	川原 博満	対面
国立研究開発法人 森林研究・整備機構	森林整備センター 関東整備局 分収林契約係長	田中 浩二	WEB (代理出席)
独立行政法人 水資源機構	ダム事業部 ダム管理課長	杉浦 友宣	対面